

科目名	飼養管理学 I	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年前期			
受講条件	ペット総合学科 1年生	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	犬と猫について学ぶ。犬と猫の飼養管理について学び、人に説明できるようになる事を目的とする 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬猫の飼養管理について人に説明できるようになる							
受講条件	ペット総合学科 1年生であること							
事前学習について (テキスト・参考書等)	エデュワードプレス社：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 パワーポイント、プリントなど							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	犬と猫が違う生き物であることを理解する							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	犬と猫の特徴を理解したうえで正しい飼養管理を検討できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	実習に必要な基礎的内容を覚えて実施できる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	犬とは①							
3~4	犬とは②							
5~6	犬とは③							
7~8	猫とは①							
9~10	猫とは②							
11~12	猫とは③							
13~14	保定とバイタル							
15~16	薬剤と消毒							
17~18	薬浴							
19~20	犬の飼養管理①							
21~22	犬の飼養管理②							
23~24	猫の飼養管理①							
25~26	猫の飼養管理②							
27~28	期末試験							
29~30	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				80	秀、S (4) : 90点以上
小テスト								優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度			○	○			20	可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	( ) 内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験 紹介	動物病院勤務歴 12年		愛玩動物看護師		

科目名	ドックトレーニング		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1 年生前期			
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	犬のしつけ (実技) を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触ることができるようにする							
受講条件	ペット総合学科 1 年生であること							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる								
☑ 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる								
☑ 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる								
☑ 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる								
☑ 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる								
授業計画 (全体)								
座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1~4	犬の本能について (座学)							
5~8	犬の習性について (座学)							
9~12	「歩く」練習 1							
13~16	「歩く」練習 2							
17~20	「歩く」練習 3							
21~24	「触る」練習 1							
25~28	「触る」練習 2							
29~32	実技試験							
成績評価方法								
1 単元末の実技試験								
2 授業態度や積極性								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80%	秀、S (4) : 90 点以上
小テスト								優、A (3) : 80 点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70 点以上
授業態度	○				◎		20%	可、C (1) : 60 点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59 点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	( ) 内はG.P 点数
担当教員	末岡 賢志		実務経験紹介	訓練士歴 ドッグスクールSue <a href="http://dogschoolsue.com/">http://dogschoolsue.com/</a>				

科目名	動物臨床栄養学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年生後期			
受講条件	ペット総合学科1年生	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	動物の食について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペットの食や栄養を知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について(テキスト・参考書等)	愛玩動物看護の教科書2(緑書房)							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点 動物の食事や栄養について知る								
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点 動物それぞれの必要な栄養素がわかる								
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点 動物の栄養について興味を持ち学ぶ								
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
テキストを用いて進める 五大栄養素について学び、犬と猫の栄養における相違点を学ぶ。BCSや給与法、おやつについても学ぶ								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	栄養学総論							
3~4	栄養学各論 炭水化物							
5~6	栄養学各論 ミネラル、脂質1							
7~8	栄養学各論 脂質2、ビタミン							
9~10	栄養学各論 タンパク質							
11~12	犬と猫の食性の違い エネルギー1							
13~14	犬と猫の食性の違い エネルギー2							
15~16	ペットフード1							
17~18	ペットフード2 BCS							
19~20	食事の給与方法							
21~22	ライフステージ1							
23~24	ライフステージ2							
25~26	病態に応じた食事管理1							
27~28	病態に応じた食事管理2							
29~30	単元末テスト							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 冬休みの課題								
3 授業態度								
4 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					80%	秀、S(4):90点以上
小テスト								優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C(1):60点以上
発表・作品								不可、E(0):59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	( )内はGPA点数
担当教員	岡田 純子		実務経験紹介	なかの動物病院 <a href="https://nakanoah.info/">https://nakanoah.info/</a>				

科目名	動物感染症学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生前期			
受講条件	ペット総合学科1年生	開設時期		教員実務経験対象	○			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	感染症を防止治療するために病原体の種類や特徴、感染方法や特徴的な症状を知る 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	動物の感染症を正しく知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について (テキスト・参考書等)	愛玩動物看護の教科書2 (緑書房)							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	動物の感染症について知る							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	動物の感染症を見分けることができる							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	動物の感染症について興味を持ち学ぶ							
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点	積極的に学ぶ姿勢がある							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)								
テキストを用いて進める 基礎用語を学び、代表的な犬猫の感染症について学ぶ								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1~4	ガイダンス 総論1							
5~8	ガイダンス 総論2							
9~12	ウイルス各論							
13~16	細菌							
17~20	細菌							
21~24	真菌、リケッチャ							
25~28	ワクチンについて							
29~32	寄生虫とは何か							
33~36	糸虫							
37~40	吸虫							
41~44	原虫							
45~48	外部寄生虫症1							
49~52	外部寄生虫症2							
53~56	外部寄生虫症3							
57~60	単元末試験、解答解説							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 夏休みの課題								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀、S (4) : 90点以上
小テスト								優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B (2) : 70点以上
授業態度								可、C (1) : 60点以上
発表・作品								不可、E (0) : 59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	( )内はGPA点数
担当教員	岡田 純子		実務経験紹介	なかの動物病院 <a href="https://nakanoah.info/">https://nakanoah.info/</a>				